



校長室だより (31) H31(2019).1.18.金

熊商の日々の教育活動 ～ 志高く、怒と信頼の人づくり ～

熊本県立熊本商業高等学校 校長 郷 慶次

◆気持ちの良い学校生活を送るために

熊商は上履きがない「一足制」の学校です。どうしても砂や泥が校舎内に入り、階段や廊下などが汚れてしまいます。しかし、毎朝、部活動生が昇降口をホウキで掃いてくれており、午後の掃除の時間も全生徒が清掃に励んでくれているおかげで、現校舎が完成した頃と変わらない状態を保っています。

7年前の新校舎落成式で当時の生徒会長が「きれいな学校であり続けるように大切に使っていきます」とあいさつをしたことを覚えています。

今後も、美しい校舎であるために学校全体で掃除に取り組んでいきたいと思えます。写真上:吹奏楽部生徒による昇降口の清掃(12/27)、左下:3年2組教室の清掃(1/11)、右下:1階廊下の清掃(3年4組担当、1/11)



◆冬休み課外

今月は1月20日から3週連続して全商協会主催の情報処理、簿記実務、商業経済の検定試験が行われます。昨年末の冬休み、多くの生徒が登校して熱心に課外を受講していました。受験するからには合格するという強い気持ちを持って、勉強に励んで欲しいと願っています。



◆1月8日(火) 生徒会執行部任命式

この日、生徒会執行部が新しい役員に交替しました。旧執行部の皆さん大変お疲れ様でした。この一年間は向生徒会長を中心にして、北門での朝の挨拶や放送などの従来の活動に加えて、アイデアを出し合い、文化発表会でのモザイクアート制作などの新しい取り組みにもチャレンジをして学校全体を盛り上げてくれました。執行部の生徒は部活動との掛け持ちも多く、忙しい一年だったと思いますが、全生徒をまとめる執行部の仕事は貴重な経験となったと思います。



今月からは中村新生徒会長はじめ新執行部の生徒の活躍を期待しています。



◆写真部生徒の作品展

教育委員会の通路に写真部の油布さんの作品が展示されていました(左写真、12/25)。熊本県高等学校文化連盟写真コンテストで優秀賞となり、全国高等学校総合文化祭に出品された「水平線のむこう」という題の作品です。海と空の淡いピンク色、船と埠頭の黒色が印象に残りました。